市報
にいがた

平成８年
３月３日
第1514号

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 学校町通1-602-1 編集 総務部広報課 印刷 ㈱第一印刷所

市の人口〈1月末現在〉

人口	484,625人	(－53)
男	235,359人	(－6)
女	249,266人	(－47)
世帯数	176,249	(－53)

住民基本台帳による。（ ）は前月比

高所カメラ 通信衛星 で画像を伝送
被害状況をすばやく把握

昨年一月の阪神・淡路大震災では、災害状況の情報収集に困難を窮めたため、市では瞬時に情報を把握できる通信衛星を使った「市消防局画像伝送システム」を十月（予定）から運用開始します。画像は、首相官邸をはじめ、他都市の消防局などに送られることから、大災害時に迅速な応援態勢ができ、被害の軽減につながることが期待されます。

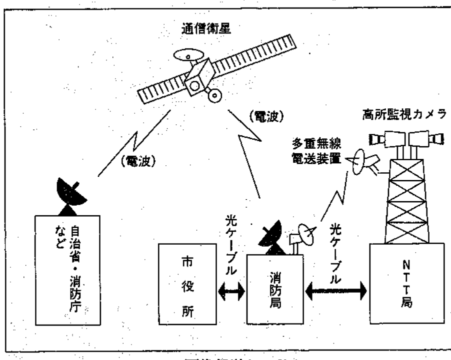
下大川前通二にある地上八十二㍍のNTTビルの鉄塔に、二台の監視カメラを設置。カメラは、約十㌔離れた人物を確認できる性能を持ち、市内の全域をカバーできます。

消防局とNTT、さらに災害対策本部となる市役所を光ケーブルで結び、カメラからの映像を伝送。消防局から遠隔操作ができ、夜間も対応できます。また、通信網を十分確保するためにNTTと消防局に多重無線装置も設置します。

さらに消防局には直径四・五㍍のパラボラアンテナを設け、通信衛星を使って受信機能を備えた自治省、消防庁、首相官邸、他都市の消防局などに最新の画像を送ることができます。得た情報から、被災地にどのような応援態勢を整えればよいか迅速かつ的確に判断でき、被害を最小限に抑えられます。

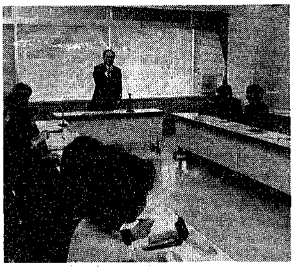
阪神・淡路大震災を契機に、災害時に広範囲な応援態勢がとれるよう全国の消防本部で構成された「緊急消防援助隊」に出動要請する場合にも、新システムを活用します。また、県消防防災ヘリコプターがカメラの搭載を検討しており、空から撮影した映像を無線で送る構想もあります。

現在、新システムの導入を進めているのは、県庁所在地や政令指定都市など二十七都市。近くでは富山市、長野市が設置を進めています。



画像伝送システム

市消費者団体懇談会
長谷川市長と懇談
福祉・ごみ問題で質問


懇談会であいさつする長谷川市長

市消費者団体懇談会と長谷川市長との懇談が、二月二十三日、開催されました。

席上、長谷川市長は「地域の実態に促した先見的な意見をもらい、喜んでいる。採り入れられるものについては、他に先駆けて実施していきたい」とあいさつしました。

懇談では福祉政策の質問に対し、市長は「行政の役割は市民の自立した生活を支援すること。将来市内八ブロックの全部に地域保健福祉センターを設置し、福祉の拠点としたい。新年度からは三百六十五日・二十四時間の介護体制整備にも着手したい」と話しました。

また、ごみ対策については、今年秋には、減量化の障害になっているプラスチックごみの油化が始められる予定と報告しました。

消費者団体懇談会は、現在、十の消費者団体から構成され、毎月一回の定例会では消費者問題の学習会や公共的サービス業、小売り業者などとの懇談会を開催し、各団体の活動に役立てています。

第１回新潟市民伝統文化祭
茶席・生け花・郷土芸能で
8日から華やかに開幕

市では、伝統文化に気軽に市民の皆さんから親しんでもらおうと、第一回新潟市民伝統文化祭を三月八日から十日まで開催します。

会場の市民プラザでは、市茶道連盟による茶席と、市華道連盟による生け花展を開催します。会場は茶席（三席）と生け花で華やかに演出。生け花展には二十二作品が飾られるほか、ロビーにはモニュメントとなる大きな生け花が展示されます。

また、NEXT21の一階アトリウムでは、伝承芸能を紹介する芸能プラザにいがた座のステージを三月九・十日午後三時から四時に行います。

九日は沼垂木遣保存会、新潟民謡愛好会、藤見幼稚園万代太鼓龍の子会、十日には、新潟樽砧保存会、赤塚代々神楽保存会、消防記念新潟保存会・一番会、新潟民謡研究会の皆さんが出演しますので、ぜひご覧ください。

問い合わせ 文化振興課（☎内線２１５３番）へ

2月臨時市議会が閉会
補正予算など 9議案を可決

二月二十日に始まった二月臨時市議会が、提案されていた一般会計補正予算など九議案をすべて可決し、同月二十二日に閉会しました。

可決された一般会計補正予算の主な内容は、保育園の運営費用や特別養護老人ホームの入所者費用などに約七億円、除雪対策費に三億円などです。このほか、老人保健事業会計や下水道事業会計など特別会計の補正予算、西総合スポーツセンターの用地取得と、災害時の画像システムの購入、第２二葉団地（仮称）公営住宅の新築工事契約などが可決されました。

また、議員発案として、政府に対する責任の徹底糾明などを求める「住宅金融専門会社の不良債権処理問題に関する意見書の提出について」が可決されました。

交通災害共済に加入を

交通災害共済は交通事故に遭った場合、年間五百円の掛け金で最高百二十万円の見舞い金が支給される相互扶助制度です。万一の事故に備え、ご家族そろってご加入ください。

共済掛金 年一人五百円
共済期間 四月一日～来年三月三十一日
見舞い金 一等級百二十万円～十一等級二万円
申し込み 交通防災課（市役所本館三階☎内線２４２４番）、地区事務所、連絡所、金融機関へ

この道一筋 ㉒

甘納豆づくり 佐藤耕一さん（58歳、古町通10）

口に広がる豆の風味

駄菓子屋としては100年以上の歴史。先代が大正の末ごろに甘納豆づくりを始めてから70年。今も伝統の味を守り続けている。

「甘納豆は豆の風味を出すのが決め手」とキッパリ語る佐藤さんは、先代の酉松さん、叔父の政喜さんから受け継ぐ伝統の味を守り続けています。

稼業を継ぐために和菓子づくりの修行に出たのが十六歳の時。二十二歳で実家に戻り、「また一から甘納豆づくりを体で覚えた」と当時を振り返ります。昭和四十年ごろは毎日行列が出来るほどの繁盛ぶりで、夜明け前から釜に火を点し、人が寝静まるころまで働き続けたといいます。

夏場は湿気が多くてしけるため、冬場しか作れないという甘納豆づくりは、出来上がるまでに三日間を要する根気のいる仕事。中でも豆をじっくり煮るところに一番気を使うとか。煮過ぎると皮が破れてあんになり、固いと芯が残ってしまう――「豆の種類によって煮加減が違う。この時ばかりは目が離せない」と職人の眼がキラリ。しかし、こうした苦労も「お客さんが喜んでくれるから」と目を細めます。

電話案内
市役所・市教育委員会 ☎228-1000（代表）

テニスガーデンにいがた	276－8900
園芸センター	286－1034
水道局	266－9311
市民病院	241－5151
東保健所	**243－5311**
石山地区保健センター	286－4450
鳥屋野地区保健センター	285－2373
北地区保健センター	259－7332
西保健所	**266－5171**
西地区保健センター	262－3405
坂井輪地区保健センター	260－3255
急患診療（市医師会 県歯科医師会）	
急患診療センター	228－2822
休日歯科診療センター	283－3030

ハイビジョン体験をしませんか

日時 ３月９日～31日毎週土・日曜日午前11時～午後１時
会場 市民プラザ・情報ラウンジ
内容 ＮＨＫのハイビジョン番組（生きもの地球紀行、海のなかまの物語、ほか）の放映
問い合わせ 会場（☎226-5500）へ

'96フラワーウェーブ新潟 花・華・英の祭典

日時 ３月８・９・10日午前９時半～午後５時（初日は午前10時から、最終日は午後４時半まで）
会場 市産業振興センター
内容 チューリップ切り花コンテスト、花のメロディ演奏会、ほか
入場料 前売券500円（当日600円）
※中学生以下無料
問い合わせ 県園芸・流通課（☎285-5511）へ

マリンピア日本海 臨時休館のお知らせ

三月七・八日は点検のため臨時休館します。
問い合わせ 同館（☎222-7500）へ